

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスプロモーションの評価を的確に行う 1
European Commission of the International Union for Health Promotion and Education
- 1. Health & Social Outcomes: QOL, equity, functional independence, reduced morbidity, disability, avoidable mortality
- 2. Intermediate Health Outcomes:
 - 1) Healthy Lifestyle: tobacco use, food choice, physical activity, alcohol use, illicit drug
 - 2) Effective Health Service: provision of preventive services, access to and appropriateness of health services
 - 3) Healthy Environments: safe physical environment, supportive economic and social conditions, good food supply, restricted access to tobacco, alcohol

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスプロモーションの評価を的確に行う 2
- 3. Health Promotion Outcomes:
 - 1) Health Literacy: knowledge, attitudes, motivation, behavioral intentions, personal skills, personal skills, self-efficacy
 - 2) Social Action and Influence: community participation, community empowerment, social norms, public opinions
 - 3) Healthy Public Policy and Organizational Practice: policy statements, legislation, regulation, resource allocation, organizational practices

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスプロモーションの評価を的確に行う 3
- 4. Health Promotion Actions:
 - 1) Education: patient education, school education, broadcast media & print media communication
 - 2) Social Mobilization: community development, group facilitation, technical advice
 - 3) Advocacy: lobbying, political organization and activism, overcoming bureaucratic inertia

健康文化のまちづくりツール

- なぜ行政から住民への説明義務、合意、インフォームドコンセントが必要か 1
- 1 住民への父権主義の克服
- 2 住民への責任ある行政としての自覚
- 3 住民の自己決定権の尊重
- 4 住民の価値観の尊重
- 5 相互信頼感の醸成

健康文化のまちづくりツール

- なぜ行政から住民への説明義務、合意、インフォームドコンセントが必要か 2
- 1 相互のエンパワメント、潜在能力の開発
- 2 結果への責任
- 3 協働行動の推進
- 4 “専門家市民”としての自覚
- 5 政策、計画は、住民への責任プロセス

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・サーベイランスを継続する
- 1. 医学的サーベイランス: 死亡登録、罹患届、流行報告・調査、健康調査、栄養調査、検査報告、症例調査、疫学調査、ナチュラル・フォーカス、薬品使用調査、心理調査
- 2. 社会的サーベイランス: 人口調査、環境調査、意識調査、医療調査、福祉調査、労働調査、産業調査、教育調査、労働調査、社会調査、生態系調査

健康文化のまちづくりツール

■ 行政サイドのエンパワーメントを図る 1

- 1 行政部局内部のセクショナリズムの解消
- 2 各部局の横断的包括的サービスの開発
- 3 事業、計画、政策、システム形成への部局間及び住民との合意
- 4 サービスのモニタリングと科学的根拠に基づく介入
- 5 サービスの継続的評価(事業、実績、総合)の導入

健康文化のまちづくりツール

■ 行政サイドのエンパワーメントを図る 2

- 1 行政の成果の重視とインセンティブの付与
- 2 職員の意識変革と生涯研修の保障
- 3 行政サービスの質と説明責任
- 4 行政研究と政策への住民参加
- 5 人事管理と情報管理の適正化
- 6 地域民主主義Local Democracyと住民自治Autonomy

健康文化のまちづくりツール

■ 専門スタッフの能力と感性を磨く

- 1 知識、理解、応用、分析、総合、評価を主体的に的確に行うことができる
- 2 コミュニティの健康医療ニーズに鋭敏である
- 3 単独及び複雑な組織体の中でも活動できる
- 4 他職種とともにチームを構成し、リーダーとしてメンバーとして有効に活動できる
- 5 コミュニティの自主的参加を求めると指導者、住民、スタッフと良好な意志疎通ができる
- 6 個人、集団、コミュニティのヘルスプロモーションを介して健康的なライフスタイルの普及に努める

健康文化のまちづくりツール

■ 専門スタッフの能力と感性を磨く

- 1 医療健康に関するテクノロジーの妥当性を厳しく評価できる
- 2 住民の希望と社会全体の負担及び倫理のバランスに留意した複雑な意思決定ができる
- 3 住民のトータルなニーズを配慮した包括的ケアや政策提言をすることができる
- 4 社会的公平とコミュニティの参加を絶えず推進することができる
- 5 保健医療福祉以外の他のセクターの連携、参加を促すことができる
- 6 適切なテクノロジーの向上、研究探求心や挑戦精神を推進することができる
- 7 将来のコミュニティニーズが求める技能や態度を主体的に求めることができる

健康文化のまちづくりツール

■ 良き行政パートナーシップのあり方を考える 1

- 1 業務の増加、広がりや市民ニーズのマッチに関する戦略的業務の組み立てを考える
- 2 市民の要望、不満、ニーズを行政刷新の機、職場の活性化のチャンスととらえる
- 3 良き政策策定者は、現場経験を普遍化、普及化する人が望ましい

(出雲市健康福祉部長 渡部英二)

健康文化のまちづくりツール

■ 良き行政パートナーシップのあり方を考える 2

- 1 良き行政リーダーは、全体を俯瞰しつつ、部局、部門をつなぎ、問題を整理し、まとめ、効果的な行政サービスを生み出す人がましい
- 2 市民との公的、私的な触れあいは、協働の推進力となる
- 3 市民と行政との真の協働は、相互批判などいくつかのお産の痛みのプロセスを経ることが大切となる

(出雲市健康福祉部長 渡部英二)

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 3
- 1. 市民と行政との真の協働は、行政サイドの制約条件の理解とともに、その原因や一致点、妥協点を探ることが重要となる
- 2. 行政処理、業務処理という感覚から抜け出て、行政本来の使命、基本理念の大切さを絶えず自覚することが重要となる
- 3. 行政サービスを受ける高齢者、障害者、女性など受け手の人格を尊重することが大切である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 4
- 1. 原則、原理をうち立てることは、有効な行政、政策の選択に役に立つ
- 2. 市民と行政の共通のスローガン、行動目標は、行政の価値と仕組みを相互に共有できる点で大切である
- 3. 国際的動向や標準化を絶えず学習しつつ、市民の生活圏、コミュニティの草の根の生活動向を同時に見据えることが重要である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 5
- 1. 行政の父権主義、措置主義、保護主義から住民の自律、自立への確信を持つ
- 2. 行政の独りよがり、独断をさけるためにも、市民、研究者などと協働することが重要である
- 3. 行政の政策決定過程にも住民参画を積極的に促し、真に創造的なオンブズマン活動を育てる

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 6
- 1. 政府から打ち出される多くの縦割り事業をコミュニティという受け皿で有効に総合化し関連づける
- 2. 人集め主義、イベント志向を吹っ切り、真に戦略的に意味のある企画を住民リーダーと共に追求する

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 7
- 1. 行政も科学であるから、事務職と技術職の耐えざる自己開発と相互学習が不可欠である
- 2. 行政スタッフ自身が、自分の仕事に誇りを持ち、自分の潜在能力を絶えず楽しみながら開発し、自己検証し、育てる姿勢、態度、感性、生き方が重要となる
- 3. 行政の時代変革の中で、福祉の措置制度から自由契約制度へ、父権主義から協働主義へ、中央集権主義から地方分権主義へなどのターニングポイントを正確に掴み、理解する能力が重要となる

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 8
- 1. 行政スタッフは、その専門意識、父権意識、お上意識から、無意識に市民が参画する機会を奪っていないか、いつも自戒することが重要である
- 2. 人事異動などによる浮き草稼業の意識、無力感、事なかれ主義、出世主義、経験主義を払拭し、科学的行政を推進するチーム、職場を確立することが重要である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 9
- 1. 行政の評価方法が経験主義的であり、成果や進行状態、問題点、市民の満足度、コストパフォーマンスが見えないので、科学的行政評価法の導入が不可欠である
- 2. 計画、委員会、プロジェクト、政策などへの住民参加は、住民運動の入り口であり、未来の住民自治の成熟につながる重要な参加である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 10
- 1. 行政内部の部局間、部門間の縦割り主義の弊害は、官僚主義の弊害でもあり、良きまちづくりの発展を阻害する
- 2. 行政の所属は異なっても、市民にとってプラスになる仕事は、積極的にかかわる原則をうち立てることが重要である
- 3. 私達も一市民という立場から、何が必要なかを何時も考えることが重要である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 11
- 1. “まず箱ものありき”から“ソフトのためのハード”づくりという価値観の転換が重要となる
- 2. “身の丈の民主主義”は、“地域からの民主主義”から成熟することを認識することが重要である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 12
- 1. 市民との良き協働を進めるために、市民参加とその検証、眼差しを共有する理念、視点の成分化、広範な多様な市民の行政参画・コミュニティ活動参画、行政各部局間の多様なプロジェクト経験と連携、行政スタッフや研究者の“専門家市民”という視点と立場の認識が重要である
- 2. もっと、市民が行政の中に入って仕事ができるようにすること、行政政策や計画を市民が熟知する努力をすることが重要である

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 13
- 1. 市民の人材開発、人材ネットワーク、人材育成の機会提供をいつも考えることが大切である
- 2. 市民の活動と協働するために、最後までかかわりきる、軽やかなフットワークとしなやかなネットワークが行政スタッフに要求される
- 3. マニュアル主義、経験主義を廃し、市民と協働の目的を明らかにすれば、新たな課題、あらたな活動に対する道筋は必ずから見えてくる

健康文化のまちづくりツール

- 良き行政パートナーシップのあり方を考える 14
- 1. 地域から生ずる問題を理解するとき、全てのことが「白」か「黒」に色分けできないことを何時も考えておくことが大切である
- 2. 自分が接する全ての人々、全ての出会いの中で、仕事のヒント、自己発展の学びを得ることができる
- 3. 住民のニーズでも、できない相談には同意を得る熱意と努力が必要である
- 4. 仕事することの楽しさ、日々の味わい、自己の人生の輝きを、活動の原点とすることが大切である

健康文化のまちづくりツール

■ 住民のエンパワーメントを考える

Ladder of Participation (S.R.Arnstein;1969)

- 1 Citizen control.....Degrees of citizen power
- 2 Delegated power
- 3 Partnership
- 4 Placation.....Degrees of tokenism
- 5 Consultation
- 6 Informing
- 7 Therapy.....Nonparticipation
- 8 Manipulation

健康文化のまちづくりツール

■ 住んでみたい町のイメージ、夢を描く

“未来は予測できない。だからデザインしなければならない。”

- 1 ブレイクスルー思考を持ち、「デカルト症候群」^{ピーター・ドラッカー}、「シャーロックホームズの犯人探し」を避ける
- 2 二元論、対概念志向、対立思考、分析思考を避ける
- 3 「未来のデザイン」アプローチを考える
- 4 目的と機能を考える
- 5 包括性と全体性を考える
- 6 複数の要素を同時に考える
- 7 相乗効果を重視する
- 8 運動性、関連性を重視する
- 9 バランス感覚を豊かに持つ

健康文化のまちづくりツール

■ ブレイクスルー思考を応用する 1

- 1 同じ状況は一つとして存在しない
- 2 問題はそれに関連する問題の絡まり合った相互関連として存在する
- 3 一つの組織における問題解決策は、他の組織の類似の問題の解決策とは異なる
- 4 当たり前を越えて、問題を再定義する
- 5 目的と関連する事柄に洞察の焦点を合わせる
- 6 理想とする先の先から見たあるべき姿を考える

健康文化のまちづくりツール

■ ブレイクスルー思考を応用する 2

- 1 通常起こる事柄(レギュラリティ)を予想し注目する
- 2 システムという氷山の8分の7は水面下に隠されている
- 3 必要で目的に適した情報だけを集める
- 4 様々な領域の関係者を参画させ巻き込む
- 5 変革は継続的持続的に多角的に進める
- 6 質や成果を測定する真に重要な物差しを定義する
- 7 分析でなく統合に重きを置く

健康文化のまちづくりツール

■ 課題解決を妨害する危険な考え方を克服する 1

- 1 “我々の範囲を超えることはできない”
- 2 “自分自身のなわばりや専門を出るな”
- 3 “決められた予算を超えるな”
- 4 “もたもたしないで次の問題に進もう”
- 5 “国や県の意向、指示を待とう”
- 6 “この問題には、唯一の正しい解決策しかない”
- 7 “それは全く非現実的だ”

健康文化のまちづくりツール

■ 課題解決を妨害する危険な考え方を克服する 2

- 1 “足を地につけよう”
- 2 “我々の町村では不可能だ”
- 3 “我が業界の慣例にはない”
- 4 “我々は白紙には返れない”
- 5 “市長、部長の意向はどうだ”
- 6 “失敗したら誰が責任をとるのだ”
- 7 “どこかにモデルか、マニュアルないか”
- 8 “そんなことをしたらメンツにかかわる”

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスサービスをマーケティング理論でとらえる(マーケティングプロセス) 1
- 1 利用者マーケットの確定: 利用規模、キャパシティ、タイミング、ロケーション、ポリシー、システム
- 2 マーケットセグメンテーションの確定: 地理、人口、家族、年齢階層、所得、ニーズ、ライフスタイル、パーソナリティ、行動パターン
- 3 ポジショニングの確定: 個別的相対的総合的位置づけ

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスサービスをマーケティング理論でとらえる(マーケティングプロセス) 2
- 1 マーケティング・ミックス: 利用プロモーション活動、サービスの流れ調整、サービスアイテム開発計画、サービス利用コストパフォーマンス
- 2 サービスアイテム開発の流れ: 情報収集→調査研究→企画・開発・提案→プロモーション→利用者コミュニケーション→マッチング→交渉→ロジスティクス→ファイナンス→リスク分析

健康文化のまちづくりツール

- ベストバリュー(Best Value)志向を導入する
- 1 3E: Efficiency, Economy, Effectivenessを重視する
- 2 住民志向自治体行政サービス、業績に関する計画、サービスファーストの精神を重視する
- 3 まちづくりの幅広い分野への広がり和服务の質を重視する
- 4 効率的でより良いサービスを提供するシステムを形成する
- 5 競争的メカニズムをマネジメントの中に導入する
- 6 コア戦略、結果戦略、顧客戦略、コントロール戦略、カルチャー戦略(5C戦略)に基づく

健康文化のまちづくりツール

- イギリスの自治体業績計画(Local Performance Plan)を参考にする
- 1 地域計画Community Planにおいて、各自治体のビジョンや政策の優先性を明確にする
- 2 地域計画におけるビジョンや戦略的目標を高次目標とする
- 3 地域計画のビジョンや戦略的目標を実現するための具体的な行動目標や戦略を全てのサービス領域について盛り込む
- 4 業績評価のためのアウトカムについての指標を他の自治体との比較可能な形で公表する
- 5 業績評価についての外部監査をマネジメント・サイクルに反映させる

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスサービスのベストバリュー戦略を考える(例: 介護保険制度導入など)
- 1 サービスアイデア探求
- 2 アイデアスクリーニング
- 3 サービスコンセプト開発
- 4 マーケティングアイテム化
- 5 経済比効果分析
- 6 アイテム開発
- 7 テストマーケティング
- 8 アイテム生産
- 9 コミュニティ市場導入
- 10 利用促進
- 11 情報伝達
- 12 コンサルティング
- 13 利用者情報
- 14 ニーズ掘り起こし
- 15 リーデルサポート

健康文化のまちづくりツール

- ニューパブリック・マネジメントの理論を参考にする
- 1 目的を明確にする
- 2 より成果を上げる機構へ改革する
- 3 明確な目標に対して業績をチェックする
- 4 透明性を強化する
- 5 説明責任(アカウンタビリティ)を向上させる
- 6 戦略プラン・業績プラン・目標・測定・評価・報告・公表を展開する

健康文化のまちづくりツール

- アメリカの自治体創造の戦略(Reinventing Principle)を参考にする
 - 1 自治体は、顧客である住民第1主義をとる
 - 2 自治体は、コミュニティの支持の上に成立する
 - 3 自治体は、競争原理に裏打ちされた経営を行う
 - 4 自治体は、官僚主義を打破する
 - 5 自治体は、効果的調整機能体である
 - 6 自治体は、分権的な経営を行う
 - 7 自治体は、絶えず、基本、原点に戻る
- (Gore, AL.: National Performance Review, 1993)

健康文化のまちづくりツール

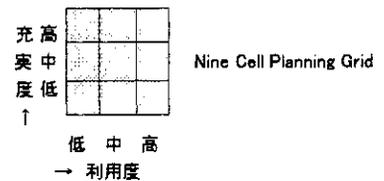
- イギリスの新しい世紀の市民憲章を参考にする
 - 1 基準 Standard
 - 2 情報と公開 Information and Openness
 - 3 選択と協議 Choice and Consultation
 - 4 礼儀と親切 Courtesy and Helpfulness
 - 5 適切な修正 Putting Things Right
 - 6 税の対価としての価値あるサービス Value for Money
- (The Citizen's Charter First Report: 1992)

健康文化のまちづくりツール

- ヘルスサービス利用プロモーション戦略を考える
- 1 注意Attention、興味Interest、欲求Desire、動機Motive、行動Actionに対応したプロモーション
- 2 利用者の抱える問題の解決に対応したプロモーション
- 3 利用者の相互関係、コミュニティ関係など関係性に対応したプロモーション
- 4 利用サービス流通チャンネルによるサービスデザイン、内容、アイテム開発、利用市場への提供に対応したプロモーション

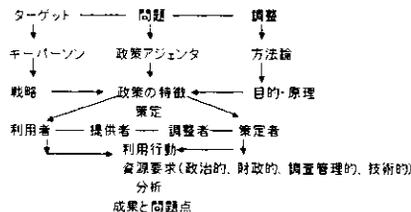
健康文化のまちづくりツール

- 政策のポートフォリオ・マトリックスを考える



健康文化のまちづくりツール

- 政策形成の内部活性化モデルを考える



健康文化のまちづくりツール

- 政策の転換、刷新を図る

1. 事業、計画の効果的修正
2. 経済比効果分析の裏付け
3. 政策立案者とサービス提供者の養成と能力強化
4. 政策形成のための住民参加型シンクタンク確立
5. 政策形成のための質的量的データベース構築

健康文化都市づくりのツール

- 市民参加行動研究Participatory Action Researchを大胆に進める

“市民、コミュニティの全面的な参加を促しつつ行われる社会的行動研究調査方法論である。コミュニティの発展のための教育学的プロセスであり、市民と行政、研究者の協働的行動のひとつのあり方である。”

健康文化都市づくりのツール

- 参加行動研究の特徴と要素を考える 1

- 1 問題への市民の関わりと参入
- 2 市民、行政、研究者の討議
- 3 問題探索とその構造、背景の理解
- 4 協働調査(資料、資源、コミュニティ、政策)
- 5 研究情報公開とより多くの市民参加
- 6 研究調査の記録化、計画化

健康文化都市づくりのツール

- 参加行動研究の特徴と要素を考える 2

- 1 研究活動とネットワーキング
- 2 研究資源開発
- 3 リアルタイムの政策形成とコミュニティアクション
- 4 コミュニティ、市民のリーダーシップ
- 5 結果、成果のシェアリング
- 6 市民のエンパワーメントと行政改革

健康文化のまちづくりツール

- まちづくり参加行動研究のステップ(WHO)を考える 1

- 1 住民・行政・研究者の健康なまちづくりの認識一致と合意
- 2 戦略的な参加行動研究計画とプロジェクト
- 3 学際的領域間の連携とコミュニティ参加
- 4 健康文化のまちづくり政策と研究支援委員会設置
- 5 生活と健康のリンケージによる戦略的健康都市計画

健康文化のまちづくりツール

- まちづくり参加行動研究のステップ(WHO)を考える 2

- 1 住民、行政、研究者の能力向上と責任性、倫理性
- 2 多様なサポートグループ、パートナーの支援ネットワーク
- 3 健康支援環境と健康的公共政策策定
- 2 サービス、行政の刷新に関する提案と承認

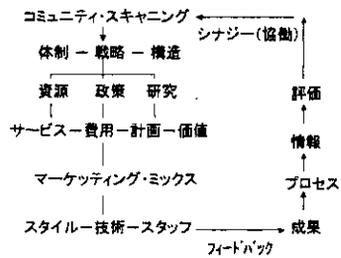
健康文化のまちづくりツール

- ヘルスコミュニケーションを考える



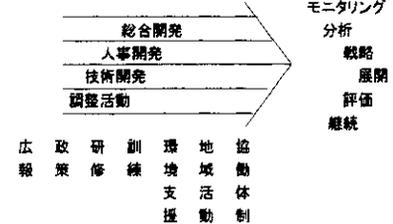
健康文化のまちづくりツール

健康なまちづくり政策をマーケット理論から考える



健康文化のまちづくりツール

健康サービス政策の価値連鎖(バリューチェーン)を考える



健康文化のまちづくりツール

健康福祉政策づくりのステップを踏まえる 1

- 1 問題の決定 Issue Define (ニーズ分析、フォーカス、課題抽出)
- 2 委員会、審議会論議 Agenda Phase (課題構造、ターゲット、メソッド)
- 3 政策準備議題 Policy Agenda (戦略、アクションモデル、計画設計)
- 4 政策変更 Agenda Reform (エフェクトモデル、現状分析)
- 5 政策決定 Decision Phase (プロジェクト志向、目的俯瞰、目標管理)

健康文化のまちづくりツール

健康福祉政策づくりのステップを踏まえる 2

- 1 政策選択 Policy Choice (原理、方法論、ベンチマーキング)
- 2 政策遂行 Implementation Phase (モビライゼーション、ネゴシエーション)
- 3 政策成果 Policy Outcome (発展プロセス、アセスメント)
- 4 政策葛藤 Policy Conflict (住民、政策形成者、政策遂行者)
- 5 政策研究 Policy Research (刷新、普及化、波及化)

健康文化のまちづくりツール

健康福祉政策策定に必要な能力を磨く 1

- 1 情勢、現状を科学的に分析する能力
- 2 明確な問題、課題を抽出する能力
- 3 問題の成り立ち、構造、背景、要素を把握する能力
- 4 問題群の相互関係を構造的に理解し図式化できる能力
- 5 目的、標的に対応した戦略的戦術的方法を設計する能力
- 6 目的から成果、問題点、課題、将来見通しを俯瞰する能力

健康文化のまちづくりツール

健康福祉政策策定に必要な能力を磨く 2

- 1 評価可能な量的質的尺度を各目標に設定する能力
- 2 評価データの内容、収集法を明確にし、適正な評価を行う能力
- 3 目的、目標、手順の連鎖、関係を明示し、エンパワーメント、潜在能力の開発につなげる能力
- 4 政策遂行に関して体制、リーダーシップ、パートナーシップを強化する能力
- 5 評価後の改善システムを明示し、改善によって業務を高度化する能力
- 6 サービス利用者の立場で、表現でき、行動し、評価し、サービス利用者と合意形成する能力

健康文化のまちづくりツール

- 健康のまちづくり方法論の開発を考えるキーワードを押さえる 1
- 1 Community Participation and Involvement
- 2 Collaborative Teamwork and Partnership
- 3 Social Support Networking and Community Action
- 4 Cost-Utility and Quality Control
- 5 Information Technology and Communication Linkage
- 6 Policy-Plan-Project-Program Action

健康文化のまちづくりツール

- 健康のまちづくり方法論の開発を考えるキーワードを押さえる 2
- 1 Plan-Do-See-Check Program and Outcome Monitoring
- 2 Participatory Action Research and Community Empowerment
- 3 Life-long Learning and Self Care Skill
- 4 Sector-wide Approach
- 5 Evidence-based Healthy Public Policy Making

健康文化のまちづくりツール

- 健康のまちづくり方法論の開発を考えるキーワードを押さえる 3
- 1 Health supportive Environment and Risk Management
- 2 Health Care Package and Community Care Management
- 3 Health promotion and Personal Lifestyle Management
- 4 Best Practice Dissemination
- 5 Community-based Learning and Training

健康文化のまちづくりツール

- 健康のまちづくり方法論の開発を考えるキーワードを押さえる 4
- 1 Draft Formation and Document Publishing
- 2 Bench Marking and Best Value for Money
- 3 Market Research and Consumer Choice
- 4 Life-stage Health Monitoring and Lifecycle Health Assessment

健康文化のまちづくりツール

- 行政評価の基本軸を踏まえる 1
- 1 個々の政策に対しどれだけの予算とマンパワーと時間を投与したか(インプット指標)
- 2 その政策によって具体的にどのような仕事がアウトプットされたか(アウトプット指標)
- 3 その結果、住民にとってどのような成果が具体的に提供されたか(アウトカム指標)
- 4 行政評価はプログラムレベル(業績評価: Performance Measurement、あるいは執行評価)で行うべきである。: 使命、達成目標、業務の効率目標、Plan-Do-Check-Action サイクル

健康文化のまちづくりツール

- 行政評価の基本軸を踏まえる 2
- 1 ポリシーレベル(Policy Evaluation)の優先度は相対的に低い
- 2 行政評価のバージョンアップを図る: 職員の自己点検(目標管理)と顧客住民のカスタマー・サティスファクション(満足度調査)
- 3 説明責任の確保、効率的・効果的な施策の実施、政策形成能力の錬磨が行政評価の目的でもある

健康文化のまちづくりツール

■ 行政を変革する5つの“C”を押さえる (オズボーン)

- 1 コア戦略 Core Strategy
- 2 結果戦略 Consequence Strategy
- 3 顧客戦略 Customer Strategy
- 4 コントロール戦略 Control Strategy
- 5 カルチャー戦略 Culture Strategy

健康文化のまちづくりツール

■ 行政評価の二つのツールを使う 1

ベンチマーキング方式 (Benchmarking)

組織のパフォーマンスを向上させるため、何らかの基準や目標を定め、それらと組織のパフォーマンスとを比較して改善のための改革に結びつける手法。ベンチマークとして、優れたパフォーマンスを示している他の組織や機関の実績(ベストプラクティス)を用いる場合もある。

住民に分かりやすい分野や項目による目標値の体系化(基本構想的)を図る。社会指標的な目標設定をするのでスローガニックになることもある。

健康文化のまちづくりツール

■ 行政評価の二つのツールを使う 2

戦略計画方式 (Strategic Planning)

組織の使命(Mission)や目標(Goal)と、それを実現するための戦略を策定するための手法である。組織に戦略的思考を根付かせたり、意志決定の過程を改善したりする上で有効である。

行政の組織や業務体系に則した目標値の体系化で基本計画や実施計画的である。組織や業務に対応した目標設定を行う。

健康文化のまちづくりツール

■ 行政評価のメリットを認識する

1. 上位目標をブレイクダウンして目標値を階層化し、指標体系の構築を行う
2. 目標値として成果指標を重視する
3. 目標の達成度評価を中間、事後に行う
4. 顧客、住民のニーズ、満足度志向
5. 経過や結果を絶えず公表し透明性と説明責任を明確にする

健康文化のまちづくりツール

- ミネソタ・マイルストーン(Minnesota Milestones,1998-)のベンチマーキング事例を参考にする

1. 人 People

- 我々の子どもは貧困の中では生活しない小目標が列挙される
- 子どものために家族は安定して子どもの支援ができる環境を提供する
- 全ての子どもは健康であり、勉強できる体制で学校に入る
- MN州の市民は学校で基本と応用の技術と知識を身につける
- MN州の市民は健康を維持する

Minnesota Milestone:1998

健康文化のまちづくりツール

ミネソタ・マイルストーンのベンチマーキング事例

2. コミュニティと民主主義 Community and Democracy

- 我々のコミュニティは、安全で友好的で思いやりがある
- 必要としている人たちは、独立して生活できるような支援が受けられる
- 全ての人がコミュニティと経済に受け入れられ参加できる
- 人々は行政や政治に参加する
- 州政府は、コストの効率が良く市民のニーズに合ったサービスを提供する

Minnesota Milestone:1997

健康文化のまちづくりツール

ミネソタ・マイルストーンのベンチマーキング事例

3. 経済 Economy

- 持続可能な強い経済成長を遂げる
- 就労者は政界経済のリーダーになるように教育と訓練を受ける
- 市民全てはある程度の生活水準を保つための経済活動を行う
- 市民全てがきちんとした、安全で支払いができる住居がある
- 郊外、小都市、中心部の住民全てが雇用と生活の場がある

Minnesota Milestone: 1998

健康文化のまちづくりツール

ミネソタ・マイルストーンのベンチマーキング事例

4. 環境 Environment

- 未来世代の良好な環境と競争力のある経済のために天然資源を保全する
- 市民は大気、水質、地質をより良くする
- 市民は植物や野生動物に必要な健康なエコシステムを維持・再生する
- 市民は自然資源を楽しむ機会がある

Minnesota Milestones: 1998

健康文化のまちづくりツール

■ 健康福祉政策評価の課題を考える 1

- 1 職員スタッフの意識改革
- 2 成果重視の徹底とインセンティブの付与
- 3 人的能力開発と実績主義の重視
- 4 情報、データ蓄積の整備
- 5 予算の有効利用 Best Value for Money

健康文化のまちづくりツール

■ 健康福祉政策評価の課題を考える 2

- 1 政策遂行に伴う費用効果分析
- 2 政策研究、政策開発の推進
- 3 政策に関する教育、研修の強化
- 4 多元的評価方法の開発
- 5 コミュニティアクション、エンパワーメントの強化
- 6 政策形成・遂行の支援環境の形成

健康文化のまちづくりツール

■ 21世紀の健康福祉行政評価を考える 1

- 1 住民自治による地方分権の推進
- 2 業務の統合、再編、効率化、リエンジニアリング
- 3 縦割り組織機構の再編
- 4 行政評価手法の導入
- 5 行政意志決定家庭の透明性と説明義務
- 6 住民、行政とのインフォームドコンセント

健康文化のまちづくりツール

■ 21世紀の健康福祉行政評価を考える 2

- 1 行政サービスへの税金に見合ったベストのサービス提供活動 Best Value for Money: BVFMの導入
- 2 情報公開とプライバシー擁護
- 3 行政サービス利用手続きの簡素化と監査機能の強化
- 4 コミュニティ発展との協働と支援
- 5 地域IT化とヒューマンリレーションズサービス
- 6 住民、行政、コミュニティの能力開発とエンパワーメント

健康文化のまちづくりツール

- 住民と作る健康文化のまちづくりツールの事例を参考にする
- 1. コミュニティの俯瞰図、コミュニティ・パッチワーク・マップ
- 2. コミュニティのベースラインと目標
- 3. コミュニティの生活の質と人生満足度
- 4. コミュニティの関連政策と住民参画
- 5. コミュニティのエンパワーメントと潜在能力開発
- 6. コミュニティのアクションと協働、ネットワーキング
- 7. コミュニティ発展の技法と参加行動研究
- 8. コミュニティのサービスプログラムと利用者行動
- 9. コミュニティのヘルスコミュニケーションと危機管理

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀のヘルスサービス政策の標的を考える(アメリカ) 1
- 1. ヘルスサービスの質
- 2. コミュニティ基盤教育研修プログラム
- 3. 環境・生態系保全
- 4. ヘルスコミュニケーション
- 5. 食品・薬品の安全性
- 6. 母子ヘルスケア

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀のヘルスサービス政策の標的を考える(アメリカ) 2
- 1. メンタルヘルス
- 2. 安全で健康な職業と労働環境
- 3. 公衆衛生のインフラストラクチャーの充実
- 4. コミュニティの発展支援(住宅、情報、技術)
- 5. 政策、行政の科学的評価

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・ケアマネージメント導入のメリットを考える 1
- 1. コミュニティ・ニーズへの適合性を高める
- 2. コミュニティケア計画に政策やプロジェクトを包括、総合化する
- 3. 行政、住民、NGOなどの責任領域を明確化し有効的展開を図る
- 4. サービスへの反応、関与、評価を深める
- 5. サービスの選択幅の拡大を図る

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・ケアマネージメント導入のメリットを考える 2
- 1. 住民、行政、NGOなどのパートナーシップを図る
- 2. 住民の権利の擁護と公平性を高める
- 3. コミュニティケアの責任の持続と発展を強化する
- 4. 行政組織機構間、部局組織内の非効率的官僚主義的残渣を払拭する
- 5. 不利な人々への耐えざる配慮と支援ネットの強化を進める

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・ケアマネージメントの目標を押さえる
- 1. 住民・スタッフのコミュニティ問題把握・解決能力、対知能力の促進
- 2. 住民・スタッフの危機管理能力の向上
- 3. 住民・スタッフの自己決定能力の強化
- 4. 住民と資源・システムとのリンケージとネットワーク
- 5. 住民と資源・システムとの相互作用の推進
- 6. 社会政策の開発と修正
- 7. 精神的・物質的資源の提供
- 8. 支持支援的な環境の整備
- 9. 社会的コントロール
- 10. 総合的接近方法の枠組みの強化

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・ケアマネージメントのステップを
応用する
- 1. 情報の公開
- 2. ニーズ評価とレベルの決定
- 3. ニーズの評価
- 4. 活動プランの作成
- 5. 活動プランの実践
- 6. モニタリング
- 7. 活動プランの再評価

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティケア、在宅ケア、施設ケアの総合化を進める。
特に施設ケアの原則と生活の質を保障する 1
- 1 入居者の役割 Role of the residents
- 2 入居者の尊厳と自尊心 Dignity and self respect
- 3 入居者の参画と選択の尊重 Choice and participation
- 4 意見の相違の尊重 Accepting disagreement
- 5 生きがいの実感 Fulfilment
- 6 生活の自律 Autonomy

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティケア、在宅ケア、施設ケアの総合化を進める。
特に施設ケアの原則と生活の質を保障する 2
- 1 専門家の助言や弁護へのアクセス Access to expert
advice/ Advocacy
- 2 個性の尊重 Individuality
- 3 人間関係の尊重 Personal relationships
- 4 基準や規則の取り決め Setting standards and making
rules
- 5 決定内容の統制 Control of decisions
- 6 入居者の理解 Understanding the residents
- 7 居住権の保障 Security of tenure

健康文化のまちづくりツール

- 健康的ライフスタイル形成を支援する 1
- 1 多様化するライフスタイルと意識の理解
- 2 労働様式と生活様式のバランス
- 3 労働力の消費と再生産のバランス
- 4 生命・人間性の生産と文化
- 5 生活空間、生活時間、生活動態、生活周期、生活関係、
生活意識、生活様式、生活水準、生活の質の理解

健康文化のまちづくりツール

- 健康的ライフスタイル形成を支援する 2
- 1 住民の実態や意識への関わり、参入
- 2 住民への応答と双方向性コミュニケーション
- 3 自己探索、自己理解の重要性の認識
- 4 外部環境とバリアーの認識
- 5 自己学習、相互学習、協働調査研究の重要性
- 6 セルフケア・自己制御能力と行動化の強化

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ危機管理と介入の原則 (Hazard
Analysis and Critical Control Point: HACCP)を
応用する
- 1 危害分析
- 2 重要管理点の設定
- 3 管理基準の設定
- 4 モニタリング方法の設定
- 5 改善処置の設定
- 6 検証方法の設定
- 7 記録の維持管理

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティのリスクマネジメントを考える 1
- 1 リスクマネジメントの目的の確立: 目標、目的、コミュニケーション、監視機能、監査システム、データ収集、リスク測定
- 2 リスクの評価: 特定、源泉、測定指標、リスクマッピング、個人生活、社会生活、都市化、過疎化、産業活動、自然災害、環境生態系、人為的災害、モラルハザード、健康被害、地球環境危機
- 3 リスクマネジメント戦略の立案: 回避、対応、軽減、BeSafe戦略

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティのリスクマネジメントを考える 2
- 1 リスクコントロール方針の策定: 意志決定情報、対応プロセス、マネジメント能力、環境一人一リスクモデル、行動指針
- 2 モニタリング及びプロセス改善: コミュニティ分析、環境分析、活動分析、個人分析、リスク比較、リスク管理、費用便益分析
- 3 多様なコミュニティリスク: ITリスク、行政リスク、財政リスク、環境リスク、感染リスク、モラルリスク、安全リスク、健康リスク、生活リスク、生命リスク、権限リスク、意志決定情報リスク、連携ネットワークリスク、感応性リスク、人材能力リスク、技術リスク

健康文化のまちづくりツール

- 環境生態系マネージメントを考える 1
- 1 コミュニティのリーダーシップと科学的モニタリングシステムで環境劣化を予防する
- 2 基礎的戦略として環境マネージメントシステムを確立する
- 3 環境活動を数値化し、客観的に住民、行政、企業、環境生態学研究者が見える様にする
- 4 サイクル・イノベーション発想で新しい技術フロンティアを拓く
- 5 積極的な環境情報開示、時のアセスメントで社会を巻き込んで行く

健康文化のまちづくりツール

- 環境生態系マネージメントを考える 2
- 1 環境教育を徹底し、コミュニティ全体の参画を促す
- 2 ゼロエミッションを目指した新しいコミュニティを考える
- 3 国際的国内的環境汚染、環境破壊情報をリアルタイムに開示、公開、共有する
- 4 コミュニティの環境危機マップ(現在、予見的)を住民・環境生態科学者・行政協働参加行動研究調査で作成する
- 5 コミュニティの環境政策、アジェンダ作成、グローバルスタンダード行動要綱を住民参加で策定する

健康文化のまちづくりツール

- グランドプランの樹立
- 1 住民参加によるコミュニティ総合発展計画の樹立: 健康、医療、福祉、教育、道路、交通、建築、環境、景観、産業、文化、芸術など。
- 2 住民、行政、学際的研究者、民間の協働的調査研究とワークショップ
- 3 行政内部の横断的ワーキンググループの形成とノウハウの蓄積
- 4 グランドプランと他の活動プランの重層的計画構成
- 5 各種プランの相互連携とアクションプランへのネットワーク
- 6 計画の7原理(Kaplan): 公平の原理、個人の原理、最大最小の原理、分配の原理、連続の原理、自律の原理、緊急性の原理

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティエンパワーメントを強化する
- 1 住民参加行動調査研究Participatory Action Researchの推進
- 2 各種委員会、審議会への住民の男女共同型主体的参加
- 3 住民への質の高い生涯発達学習の保障と社会教育活動の強化
- 4 情報公開の徹底と情報の質の保障
- 5 教育研修機関・組織とプログラムの充実

健康文化のまちづくりツール

- アクションプランを充実し行動を活性化させる
- 1 ニーズ対応、サービス充実のシステムの保障
- 2 代替案、修正案、補強案の用意と行政エンジニアリング手法の導入(時間研究、行動研究、方法研究、スケジューリング、計画研究、評価研究、組織研究、マネージメント研究、コミュニケーション研究、リーダーシップ研究、人間関係研究、行動心理研究)
- 3 短期・中期・長期の効果的活動計画のための情報と基盤予算
- 4 行政トップ、議会との意志決定プロセス
- 5 社会資源の確保と強力的なシステム刷新

健康文化のまちづくりツール

- 住民参加の段階を考え、高める方策をとる
- 1 住民によるコントロール段階
- 2 政策研究・政策形成の主体段階
- 3 一部権限の住民への委譲委任段階
- 4 協働行動のネットワーキング段階
- 5 専門家と住民の双方向関係段階
- 6 協議・審議への形式的参加機会の段階
- 7 表面的形式的意見聴取段階
- 8 一方的告知・情報の受け手段段階
- 9 不満、問題提起の懐柔段階
- 10 パターナリズムによる利益の甘受段階

健康文化のまちづくりツール

- 住民参加の活動を推進する
- 1 住民の欲求、ニーズにより態度価値体系を知る
- 2 住民の情緒的、合理的訴求を手がかりとして活動の目的目標を定める
- 3 住民の反応、熱意、共感を見定めながら、行動の決定、行動を行う
- 4 結果、満足度、期待水準、態度価値体系の検証を行う
- 5 行動、結果、政策化、エンパワーメントの検証を行う

健康文化のまちづくりツール

- 家庭をコミュニティ・アセスメントのコアとする 1
- 1 家庭を生物的・心理的・社会的複合体コンプレックスとしてとらえる
- 2 家庭をコアとし、学校、企業・事業所、地域社会を重層的にとらえる
- 3 家庭の構造と機能の把握:所在地、家族構成、家庭ステージ、職業構成、収入経済、教育歴、医療保険
- 4 家庭とコミュニティの接点:住居、土地、交通手段、情報通信手段
- 5 家庭基盤の社会活動:社会参加、ソーシャルサポート、生涯学習

健康文化のまちづくりツール

- 家庭をコミュニティ・アセスメントのコアとする 2
- 1 家庭機能と医療保健福祉サービス:就労、育児、教育、介護、健康歴、GOL、かかりつけ医、救急連絡体制
- 2 家庭と生活様式:健康習慣、健康資源、健康レベル、健康目標、ライフスタイル、健康行動、健康学習
- 3 家庭と地域政策:コミュニティ政策、事業、プロジェクト、サービス利用行動、ニーズ
- 4 解決すべき問題の抽出と解決策

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・ケアマネージメント活動を推進する 1
- 1 健康なまちづくりの協働的営みとしてケアマネージメントを導入する
- 2 情報提供ーニーズアセスメントーニーズレベル決定ーケアプラン作成ーケア実践ーモニタリングー再評価ーニーズ評価ー総合的成果評価のサイクル
- 3 コミュニティ志向プライマリヘルスケアのネットワーキング:近接性、総合性、協調性、継続性、責任性のケア

健康文化のまちづくりツール

- コミュニティ・ケアマネジメント活動を推進する 2
- 1 セルフケアとヘルシーライフスタイルの確立
- 2 母子ヘルスケア、学校ヘルスケア、成人ヘルスケア、産業ヘルスケア、女性ヘルスケア、高齢者ヘルスケア、メンタルヘルスケア
- 3 健康増進、特殊防護、早期発見、早期診断、早期治療、障害制限、リハビリテーションの予防ヘルスケアの包括化

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀の国際的方向を展望する 1
- ヘルスプロモーションは、重要な投資であり、健康を発展させる必須の要素である。そして、健康の前提となる諸要因への挑戦が重要になる。平和、住宅、教育、社会保障、社会的人間関係、安全な食品、収入、女性のエンパワーメント、安定した生態系、持続的な資源使用、社会正義、人権、公平、貧困の解消、都市問題、高齢化問題、慢性疾患、老年病、耐性菌の蔓延、麻薬、移住、行動異常、家庭や社会での暴力、健康危機、新興再興感染症、精神的異常、環境汚染、環境破壊、経済の国際化、貿易や市場拡大、マスメディアやコミュニケーション技術進展、情報化社会、価値観の変化、ライフスタイルの変化、生活条件の格差
(ジャカルタ宣言:1997, WHO)

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀の国際的方向を展望する 2
- 1 健康を発展させる総合的なアプローチ、特にオタワ宣言で提起された健康的な公共政策、健康支援環境の創造、住民主体のコミュニティ・アクションの強化、個人的な健康増進技法の発展、健康サービスの再編成の5大戦略の総合的展開
- 2 総合的な戦略を遂行していく場所や機関、施設の多様な開発、特に都市、農村、離島、コミュニティ、市場、学校、企業、健康福祉施設など
- 3 住民主体、住民中心の持続的な努力、参加、意志決定に基づくコミュニティ活動
- 4 健康学習、健康教育、健康情報共有の推進と住民参加によるコミュニティと住民のエンパワーメント

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀の国際的方向を展望する 3
- 1 健康に関する社会的責任の推進:個人の健康障害回避、環境保護、環境資源の持続的利用、有害商品の生産や貿易の禁止、有害で不正な市場行為の禁止、市場や職場における安全確保、公平性に留意した健康発展評価、政策の総合的発展
- 2 健康発展への投資の増強:教育・住宅・健康など多領域からのアプローチ、人間性・健康・生活の質発展志向、女性・子ども・老人・先住民・貧困者・過疎地帯住民のニーズ
- 3 健康の総合化とパートナーシップの拡大:健康と社会発展のため異なる部門間のパートナーシップ、あらたなパートナーシップの開拓、パートナーシップの強化による専門性、技術、資源の共有、倫理原則に基づく透明性と説明責任・相互理解・尊敬

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀の国際的方向を展望する 4
- 1 個人とコミュニティの能力増大:住民自身の住民協働による住民とコミュニティの能力、活動強化、教育研修・リーダーシップ訓練・資源開発、信頼できる意志決定プロセス・技法・知識の共有、コミュニケーション方法・情報メディア、社会的文化的スピリチュアルな資源
- 2 ヘルスプロモーションの支援下部構造の強化:政府、NGO、NPO、教育機関、私的機関などの協力協働、異なる機関・部局間のネットワークと協働、効果的戦略に関する情報と経験の共有、コミュニティ住民のリーダーシップ技術の訓練、研究やプロジェクトの経験に関する記録化による計画・実施・評価の改革、国際的なヘルスプロモーションに関する政治的・法的・教育的・社会的・経済的支援環境の整備

健康文化のまちづくりツール

- 21世紀の国際的方向を展望する 5
- 1 ヘルスプロモーションを決定する条件を変える認識と知識を強化する
- 2 ヘルスプロモーションのための協働とネットワーク活動の発展を支援する
- 3 ヘルスプロモーションに関係する諸資源を全面的に活用、開発する
- 4 ヘルスプロモーションのベスト事例、モデル、実践に関する知識、経験を蓄積する
- 5 ヘルスプロモーションに関する生涯学習を深め、機会を共有する
- 6 ヘルスプロモーションに関する行動への連携協力を推進する
- 7 ヘルスプロモーションに関する透明性と公的説明責任を擁護、強化する

健康文化のまちづくりツール

- 行政のベストバリュー改革を進める 1
 - 1 行政の顧客である住民にとって何がベストか。顧客の定義を明確にする
 - 2 実態分析調査をする前に、改善課題があるのかどうか下調べし、仮説を設けてから調査する：住民、職員の満足度
 - 3 改善運動は、スタッフが自ら継続的に改善成果を測定し、達成感を抱きながら、より高い目標にチャレンジしていく方法をとる：現場改善、プロセス改善、システム刷新、トータルクオリティ・マネージメント(TQM)

健康文化のまちづくりツール

- 行政のベストバリュー改革を進める 2
 - 1 住民とのコミュニケーションは、顧客満足度を基礎に積極的に出かけていく：パブリックインボルブメント、シティズン・パーティシペーション
 - 2 ベンチマーク手法を導入し、経済、産業、教育、健康福祉、児童と家庭、生活の質、自治、政策策定と展開、公共の安全、環境などの分野ごとに政策評価項目をおく。

健康文化のまちづくりツール

- WHO「健康21」のグローバルスタンダードを見据える 1

目標：全ての人々の健康潜在能力の充分な開発と発展

戦略：健康に関与する家庭、学校、職場、地域、国が参加し、意志決定、実践、責任を推進する健康発展のプロセスを重視する

2つの主要目的：良き人生のスタートと週末への健康生活へのガイド

 - 1) 人々の全人生を通してのヘルスプロモーションと健康擁護
 - 2) 主要な疾患群や安全危機の抑制

健康文化のまちづくりツール

- WHO「健康21」のグローバルスタンダードを見据える 2

3つの倫理的基礎となる価値

 - 1) 基本的人権としての健康
 - 2) 男女、国内、国際間における健康の平等性と連帯
 - 3) 個々人、グループ、コミュニティ、施設、組織、部局間の健康発展への参画と責任

健康文化のまちづくりツール

- WHO「健康21」のグローバルスタンダードを見据える 3

4つの行動戦略：科学的、経済的、社会的、政治的な「健康21」の持続的推進

 - 1 肉体的、経済的、社会的、文化的、男女平等的将来を視野に、健康レベルの評価を保障し、健康影響要因への多面的総合戦略の展開
 - 2 健康とケアの発展に対する健康一成果分析に基づくプログラムと投資の開発
 - 3 弾力的でニーズに対応した医療システムを支えられた家庭とコミュニティ志向のプライマリ・ヘルスケアの総合化
 - 4 健康に関連する全てのパートナーの参画と共同の意志決定、実行、責任による健康発展のプロセス

健康文化のまちづくりツール

- WHO「健康21」のグローバルスタンダードを見据える 4

6つの標的

 - 1 行動連帯を介した健康の平等性の促進
 - 2 人生の全ステージを包括した健康の保障
 - 3 主要な疾患と安全危機の制御
 - 4 健康創造のための持続的な多部門の統合戦略
 - 5 資源・投資と成果を重視した健康推進組織機構
 - 6 コミュニティ・マネージメントへの政策とメカニズムの研究

健康文化のまちづくりツール

- このまちづくりツール・キットは、厚生労働省科学研究補助金・健康科学総合研究事業「健康文化のまちづくり推進に関する政策科学的研究」(1999-2001年度)研究班により作成された。
- 主任研究者 山根洋右
- 共同研究者 杉村 巖、林 雅人、丸地信弘、塩飽邦憲
- 研究協力者 松葉典子、安田正己、新野峰久(北海道)、萩原 忠、石成敏子、照井一幸、鈴木恵子、佐々木恵子(秋田県)、渡部英二、北島桂子、米山敬美、樽井恵美子、Anuurad Erdembileg、Enkhmaa Byambaa、乃木章子、齋藤茂子、下野久美子(鳥根県)

参考文献

1. Hancock, T.: The evolution, impact and significance of the healthy cities/healthy communities movement. *J. Pub. Hlth. Pol.*, 14, 5-18, 1993
2. Baum, F. and Brown, W.A.: Healthy cities (Australia) project: Issues of evaluation for the new public health, *Comm. Hlth. Stud.*, 13, 140-149, 1999
3. Chalmers, K. I. and Bramadat, I. J.: community development: theoretical and practical issues for community health nursing in Canada. *J. Adv. Nurs.*, 24, 719-726, 1996
4. Hancock, L. et al.(CART Project Team): Community action for health promotion: a review of methods and outcomes 1990-1995. *A. J. Prev. Med.*, 13, 229-239, 1997
5. Whiteis, D. G.: Unhealthy cities: corporate medicine, community economic underdevelopment, and public health. *Int. J. Hlth. Serv.*, 27, 227-242, 1997
6. Jewkes, R. and Murcott, A.: Community representatives: representing the "community"? *Soc. Sci. Med.*, 46, 843-858, 1998
7. Harris, E. and Wills, J.: Developing healthy local communities at local government level: lessons from the past decade. *Aust. New Zeal. J. Pub. Hlth.*, 21, 403-412, 1997
8. Flynn, B.C.: Healthy cities: toward worldwide health promotion. *Annu. Rev. Pub. Hlth.*, 17, 299-309, 1996
9. Perkins, F. et al.: Conditions for health: the Toronto Healthy City model. *Promot. Educ.* 5, 9-14, 1998
10. Flynn, B.C.: Partnerships in healthy cities and communities: a social commitment for advanced practice nurses. *Adv. Proc. Nurs. Q.* 2, 1-6, 1997
11. WHO Regional Office for Europe: Twenty steps for developing a Healthy Cities Project. WHO, Copenhagen, 1992
12. Tsouros, A.: WHO Healthy Cities Project: a project becomes a movement, WHO/FADL, Copenhagen, 1990
13. Bettcher, D.W. et al.: Essential public health functions: results of the international Delphi study, *Rapp. trimest. statist. sanit. mond.*, 51, 44-54, 1998
14. Creese, A.L. et al.: Health systems for the 21st century. *Wld. Hlth. Statist. Quart.*, 51, 21-27, 1998
15. Wasunna, A. E. and Wyper, D. Y.: Technology for health in the future. *Wld. Hlth. Statist. Quart.*, 51, 33-40, 1998
16. Adams, O. B. and Hirschfeld, M.: Human resources for health-Challenges for the 21st century. *Rapp. Trimest. Sanit. Mond.*, 51, 28-32, 1998
17. Visschedijk, J. and Simeant, S.: Targets for health for all in the 21st century. *Rapp. Trimest. Statist. Sanit. Mond.*, 51, 56-57, 1998
18. Kone, A. et al.: Improving collaboration between researchers and communities. *Publ. Hlth. Rep.*, 115, 243-8, 2000
19. Kesler, JT.: Healthy Communities and civil discourse: a leadership opportunity for public health professionals. *Publ. Hlth. Rep.*, 115, 238-42, 2000
20. Adams, DF.: Healthy Communities and public policy: four success stories. *Publ. Hlth. Rep.*, 115, 212-5, 2000
21. Kinder, G. et al.: Integrating Healthy